

登録コード	F3A53130	開講年度	2026			
授業科目	先進繊維・感性工学実験実習				担当教員	丸 弘樹 他
英文授業名	Experiments and Practical Exercises in Advanced Textile Engineering & Kansei Engineering				副担当	金井 博幸・上條 正義・吉田 宏昭・佐古井 智紀
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・3時限 火曜・4時限	対象学生
講義室	繊維3 2番講義室 繊維共通B1物理実験1	授業形態	実験	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 4 Fカリ・先進感性					
	【2023年度以降カリ対象】繊維関連製品群の設計と計測・評価のプロセスを理解する能力				繊維関連製品について、要求性能に基づいた設計、適切な計測手法の選定、評価結果の解釈までの一連のプロセスを理解し、それぞれの関係性を体系的に説明できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	15名程度で編成されたグループが、先進繊維工学および感性工学に関する実験・実習に取り組む。また、取り組んだ内容および得られた結果についてレポートを作成し、担当教員の指導を受ける。					
(5)授業計画	この授業は100分× 2コマで実施する。 授業では以下に示すテーマを実施する（1テーマあたり2-3週に分けて実施する）。 テーマ1：生理計測に関する実験・評価 [担当：上條] テーマ2：心理計測に関する実験・評価 [担当：吉田] テーマ3：温熱環境の計測および評価 [担当：佐古井] テーマ4：繊維製品の物性および機能性評価1 [担当：金井] テーマ5：繊維製品の物性および機能性評価2 [担当：丸]					
(6)成績評価の方法	実験・実習に関するレポートにより評価する。期末試験は行わない。単位が認定されるためには、全ての実験・実習に出席し、かつ全てのレポートで合格することが条件となる。遅刻は減点対象、レポートの未提出（遅延も含む）は不可とする。					
(7)成績評価の基準	下記の(1)～(5)を満たしており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」、(1)～(5)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」、(1)～(4)の4項目を満たしていれば「やや上にある」、(1)～(3)の3項目を満たしていれば「合格水準にある」とする。 (1)各テーマの目的と意義を理解している (2)信頼性のある実験を実施できる (3)学術的に適切に実験データを解析し、そして、図示などができる (4)論理的に考察できる (5)論理的レポートを作成し、かつ、実験の限界や課題を認識し、今後の改善点を示すことができる					
(8)事前事後学習の内容	各テーマに関する説明書を授業前に予習し、実験・実習の概要について理解しておくこと。 また、この授業は90時間の学修を必要とする2単位の内容である。したがって、最低でも30時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	・全日程に出席すること。遅刻しないこと。 ・実験実習は講義のように全ての内容を板書するわけではないため、口頭での説明を聞き逃さないこと。 ・ワード・エクセルなどの基本的な操作方法を事前に習得しておくこと。 ・返却されたレポートが再提出の場合、指定日まで再提出すること。					
(10)質問、相談への対応	授業に関する質問・相談は、基本的には授業中あるいは授業終了後に対応する。 また、メールによる相談も受け付ける。担当教員のアドレスは下記の通り。 上條：kami.jo@ 吉田：hyoshida@ 佐古井：t-sakoi@ 金井：kanai@ 丸：maruh@ （@の後は、shinshu-u.ac.jp）					
(11)学生へのメッセージ	いずれのテーマも、先進繊維工学や感性工学を学ぶ上で不可欠な内容ですので、積極的に取り組んで下さい。					
(12)その他	特になし。					
【教科書】	指定しない。 （各テーマにおいて説明書を配布する）					
【参考書】	特になし。					